

## 低学年図工科における 「省察」の在り方



秋田大学教育文化学部附属小学校 図工部 佐々木恵 進藤亨

### 図画工作科における **自律した学習者**

自分が表したいことをはっきり  
ともち、表したいことに適した表  
現を求めて試行錯誤していく姿



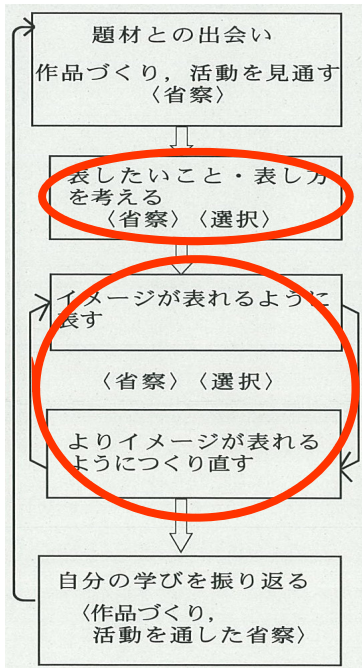
## 図工部 昨年度までの成果と課題

- 成果 ○造形的な「見方・考え方」を働かせて、表したいことと表現を往還しながら作品づくりに取り組むことができる授業づくり
- 自分の表したいことを伝えるために、効果的な表し方を選択したり生み出したりするための手立て
- 課題 ○子ども自身が自分の学びを自覚し構想を練っていくための教師の支援
- 一人一人の表したいこと、表し方に応じるための教師の支援

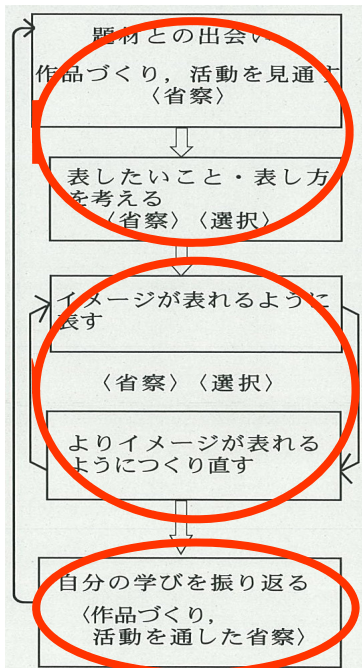
## 図工部研究テーマ

表したいことをはっきりともち、  
表したいイメージに近づくように  
表現を工夫する子どもを育む学び

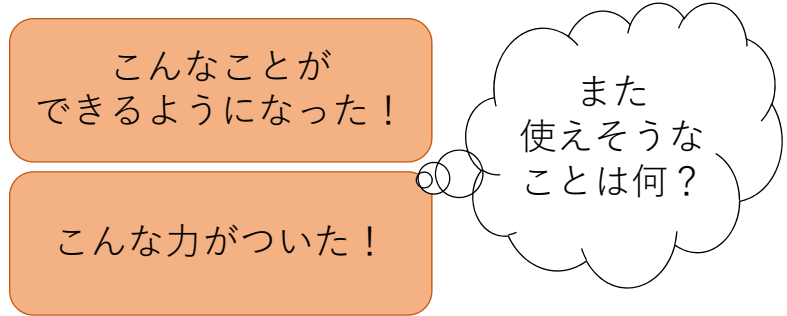
- 重点1 試行錯誤を通して効果的な表現方法を**選択**するための手立ての工夫
- 重点2 イメージや形、色などに着目した「見方・考え方」を働かせて自分の学びを**省察**し、次の活動につなげていくための手立ての工夫



### 重点1 試行錯誤を通して効果的な表現方法を選択するための手立ての工夫



### 重点2 イメージや形、色などに着目した「見方・考え方」を働かせて自分の学びを省察し、次の活動につなげていくための手立ての工夫



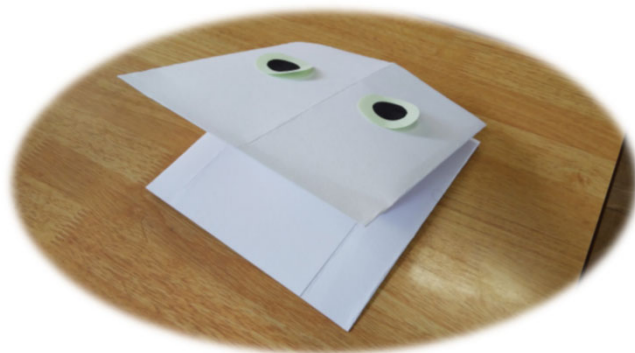
実践1 材料や作品と豊かに関わりながら、  
表したいことをはっきりさせていくための  
省察の在り方



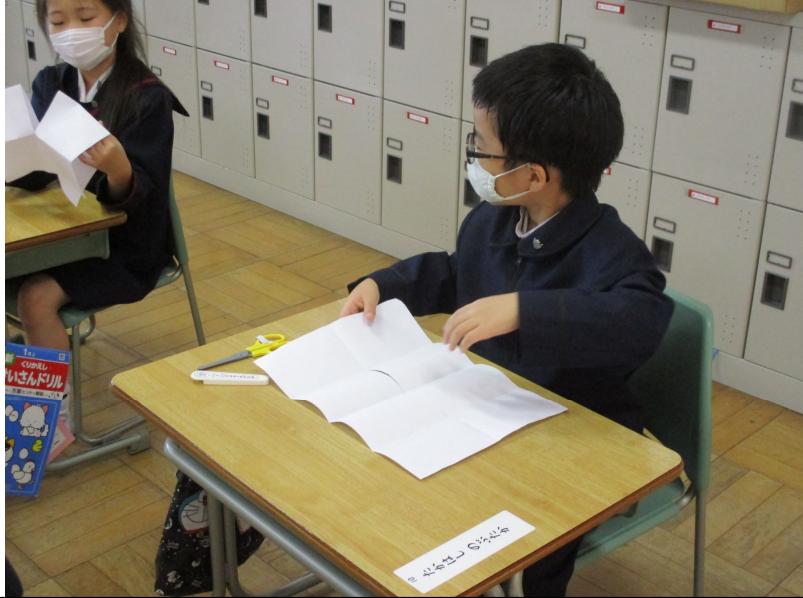
1年「発見！  
世界に1匹だけの ○○さん」  
(工作)

秋田大学教育文化学部附属小学校 図工部 佐々木 恵

導入では・・・



## つくり方に慣れる



## 形ができてくると わくわく感が高まる



はらぺこ

くいしんぼう

この動きは  
なあに？

まほう

おしゃべり

はね

ビーム

ストーリーが生まれる

## 色を考えて画用紙を選ぶ



練習から本番へ → 安心感



せかいに1びきだけの

**はっけん!**

\_\_\_\_\_ さん

ずんでいるところ

たべるもの

○ふりかえり (☺) (☹) (☹)

1	かたちをつくる	<input type="radio"/>
2	かざりやまわりのものをつくる①	<input type="radio"/>
3	かざりやまわりのものをつくる②	<input type="radio"/>

1ねん くみ

なまえ

シートの活用→表したいものを  
はっきりさせる



材料の提示 → 色・形からの  
イメージ







材料コーナー

材料からのイメージ→イメージを  
広げる



材料からのイメージ→表したいこと  
をもつ

造形的な  
「見方・  
考え方」



カードを活用した省察

イメージ



表 現



## 効果的な表現方法を選択できるように なるための技能の指導



## 作品の交流→自然な対話の姿



# 作品の交流→自然な対話の姿



せかいに1びきだけの

**はっけん!** バルフィー さん

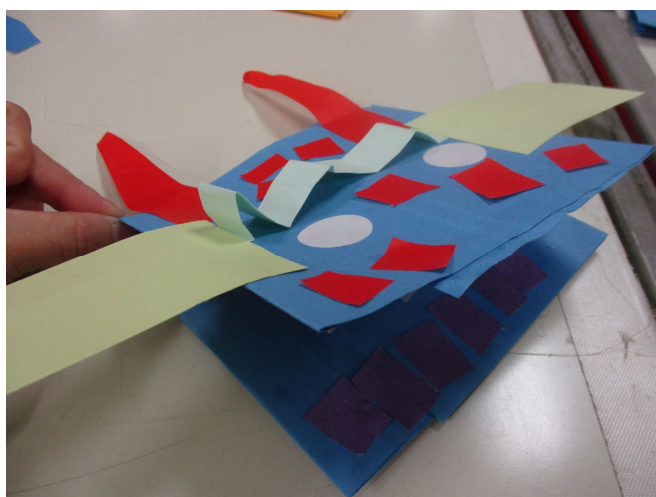
すんでいるところ てんごく      たべるもの ギョーザ

ついでつづきの  
かみ  
キレはは

かわこいしはね

○ふりかえり		😊😊😊	😞😞😞
1	かたちをつくる	😊	😞
2	かざりやまわりのものをつくる①	😊	😞
3	かざりやまわりのものをつくる②	😊	😞

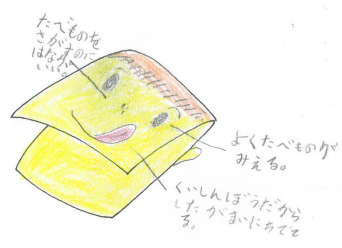
なまえ A くみ



はっけん!  
せかいに1びきだけの  
はらぺこ さん

すんでいるところ  
キッチン  
【たべものがあふ  
はじ】

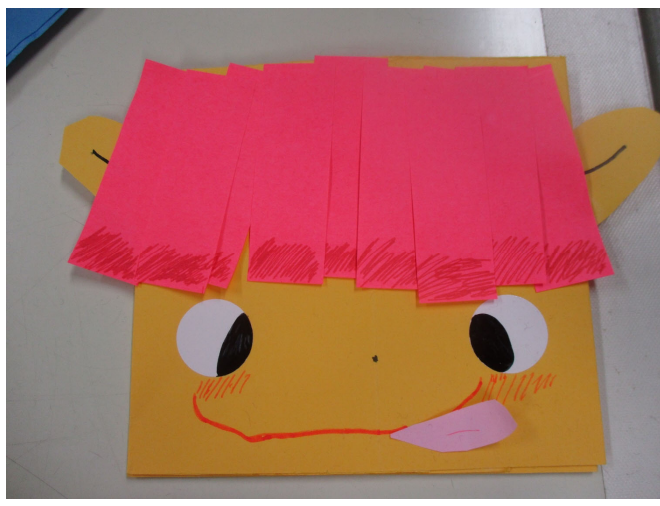
たべるもの  
にんげんし  
おんなしもの



○ふりかえり

1	かたちをつくる	😊😊😊	🌸
2	かざりやまわりのものをつくる①	😊😊😊	🌸
3	かざりやまわりのものをつくる②	😊😊😊	🌸

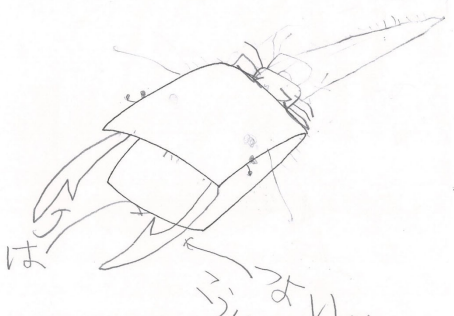
くみ Aくみ



はっけん!  
せかいに1びきだけの  
はらぺこ さん

すんでいるところ  
みず

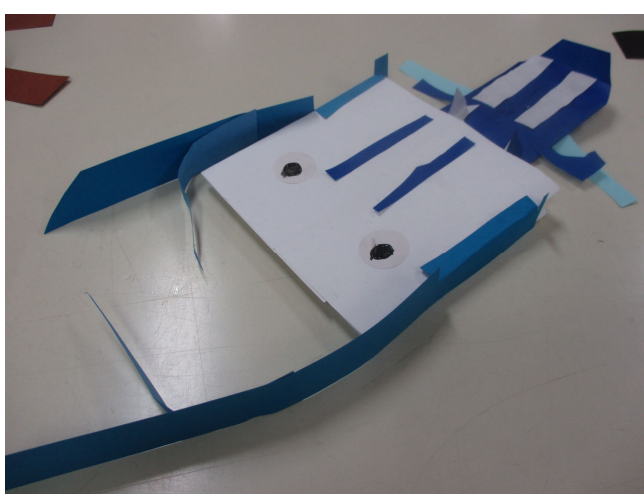
たべるもの  
はらぺこ

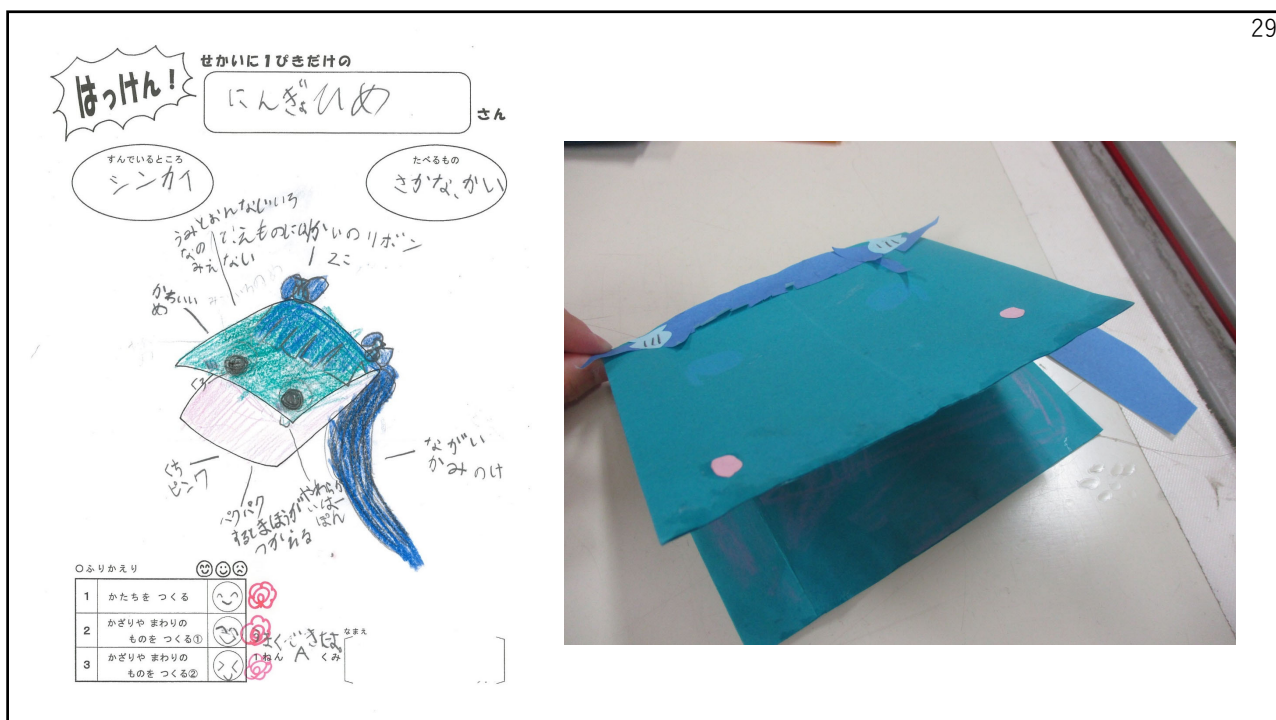


○ふりかえり

1	かたちをつくる	😊😊😊	🌸
2	かざりやまわりのものをつくる①	😊😊😊	🌸
3	かざりやまわりのものをつくる②	😊😊😊	🌸

くみ





## 本実践の成果

1. 表したいことをもたせるための手立てが有効だった。
    - ・ 学習カードの活用  
→ イメージと表現の往還
    - ・ 材料コーナー（色や形）
    - ・ 参考作品の提示  
（接着の仕方、材料の使い方）
- 省察

}

選択
2. 「動くもの」という題材設定
    - ・ 導入で子どもの意欲◎
    - ・ 自然な形での友達との対話

## 本実践の課題

1. 活動の見取り  
→活動は消えてしまう  
途中経過を記録に残すなどの工夫
2. 子どもが学びを自覚し，一般化するための  
省察の場の工夫

### 【参考文献】

- 小学校学習指導要領解説 図画工作編 文部科学省  
2017 日本文教出版

## 実践2 名付けによる省察



2年  
「形のかくれんぼ」実践から

秋田大学教育文化学部附属小学校  
図工部 進藤 亨

本題材は

**画用紙を適当に切った形を〇〇に見立てる**



**見立てた形を並べて、自分で考えたお話しを描く**

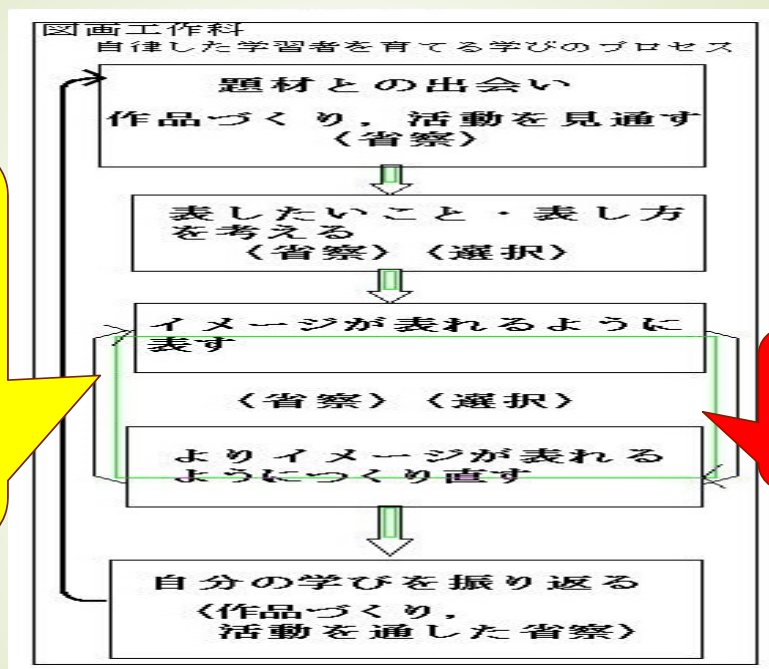
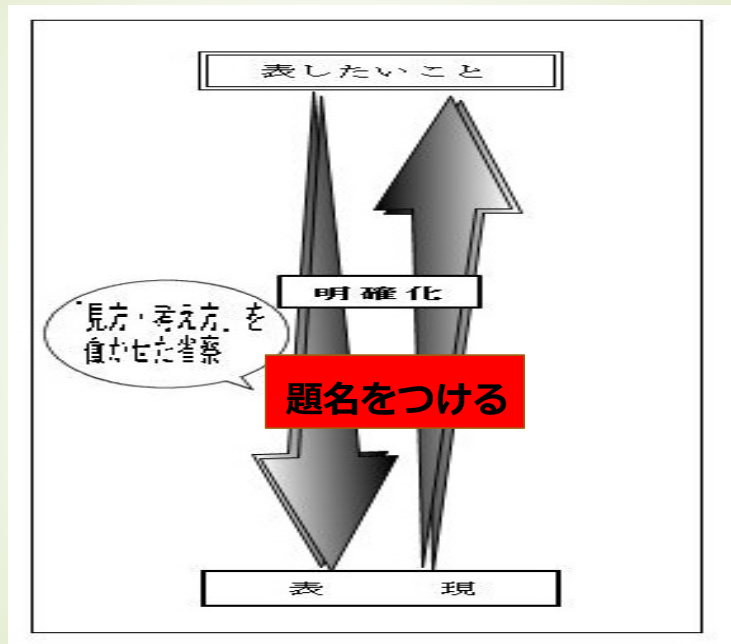


## 低学年の子どもの作品づくりと省察の姿

- 表したいことがはっきりとしているときに、省察が行われる
- 試行錯誤は省察の証
- 作品づくりに没頭しているときでも省察が行われている場合がある
- アイデアカードの活用の他に省察を促す手立ては？

## 対話しながら省察する姿





作品づくりの途中で題名を付ける

「見方・考え方を働かせた省察」

## 題名をつける効果

- ・ 題名をつけること自体が省察
- ・ 言語化することで、表したいことが はっきりと する
- ・ 言語化することで、固定化する

題名の感じが出るように表現を工夫していく  
 (表現に名前をつける→名前から表現を生み出す)

## 題名をつける際のポイント

- × きょうりゅう
- ○○な きょうりゅう

どんな

「どんな」が思考を促す

事例 1

11



あつそうな火をふく きょうりゅう

事例 2

12



海の王国へ

事例3

13



ドライブしている車が人にそうさされた 大きいヘビと とおりすぎる

事例3



あぶないドライブ

### 事例3

#### 題名の変容

①ドライブしている車が人にそうさされた 大きいへびととおりすがる



②車がへびににげているところ



③あぶないドライブ

### 成果と課題

#### 成果

- ・作品作りの途中で題名をつける活動により、立ち止まって自分の表し方を省察することができた
- ・表現と表し方の往還を促すことができた

#### 課題

- ・表現と表し方の往還を促すための、さらなる手立てを探る
- ・イメージや形、色などに着目した「見方・考え方」を働かせて、次の活動や生活に繋げるための省察の在り方を探る

## 参考文献

・名指しと必然性 ソールA. クリプキ 1985 産業図書株式会社

## 図工科の成果

○表したいことをもたせたり，表したいことをはっきりさせたりするための手立て

- ・学習カードの活用→イメージと表現の往還
- ・名付け→表現を，それに近付けていく



他の学年でも効果を期待できる

## 図工科の課題

△自分の学びを自覚し，一般化することで他の題材や生活場面に生かすための省察場面の設定

個の気づきを全体で共有する



学びを自覚・一般化し，次にも使えるようにする